

函 港 振

令和 8 年（2026 年） 7 月 1 5 日

経済建設常任委員会委員 様

港 湾 空 港 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記の資料を別添のとおり配付いたします。

記

1 配付資料

函館空港における訓練に係る防衛省との事前協議

港湾空港部港湾空港振興課
電話 21－3439

函館空港における訓練に係る防衛省との事前協議

日 時：令和８年７月１３日（月）１４：００～

場 所：市庁舎 ８階大会議室

参集者：国（防衛省北海道防衛局，航空自衛隊北部航空方面隊司令部，自衛隊
函館地方協力本部）

市（函館市港湾空港部）

函館空港周辺対策協議会，国土交通省東京航空局函館空港事務所，

北海道エアポート株式会社函館空港事業所，函館市市民部銭亀沢支所

■国からの説明（北海道防衛局から，資料（別紙）に沿って説明）

- ・ 戦闘機を含めた自衛隊機は，安全保障環境を踏まえた実効的な対応や災害時の情報収集活動等を確実に実施するため，多様な場所にて安全に離着陸できるよう，平素から母基地以外でも訓練を行う必要があり，民間空港においても，当該空港における進入方式，周辺の地形や離着陸要領等に慣熟する必要がある。
- ・ 具体的な訓練時期は決まっておらず，まずは今回検討している訓練の内容を説明させていただき，ご意見を伺ったうえで，訓練計画を策定する。
- ・ 訓練内容としては，千歳基地所属のF-15戦闘機数機による連続離着陸訓練（タッチ・アンド・ゴー）を１日（１機あたり１回のタッチ・アンド・ゴーの所要時間は数分程度）行うものであり，函館空港への駐機は行わない。

■本市の対応

訓練計画は，安全性の確保や飛行時の騒音の影響の低減など，空港周辺地域の負担軽減について最大限配慮した内容とするほか，住民意見をしっかりと取り入れるよう要請した。

■今後の予定

防衛省は，今回の事前協議を踏まえ，訓練の実施時期を含めた訓練計画案を市に提示する予定である。

自衛隊の航空機は、安全保障環境を踏まえた実効的な対応や災害等事態発生時の情報収集活動等を確実に実施するため、多様な場所にて安全に離着陸できるよう、民間空港における進入方式、周辺の地形や離着陸要領等に慣熟するための離着陸等の訓練を行っております。

今回、函館空港において戦闘機による離着陸訓練を計画したいと考えております。

【今回検討している訓練内容について】

内 容：F－15戦闘機（千歳基地所属）数機による連続離着陸訓練（タッチ・アンド・ゴー）

訓練日数：1日（天候の影響等を考慮し、1週間程度の中で訓練日を計画）

※ タッチ・アンド・ゴーは、航空機が着陸を行い滑走路に接地後、停止のために減速することなくそのままエンジン出力を上げて離陸する訓練です。函館空港への駐機は行いません。

航空自衛隊 戦闘機（F－15）



離着陸訓練のイメージ



民間空港における戦闘機の慣熟訓練の事例

空港名	訓練日数	機種・機数	訓練内容
北九州空港 (福岡県)	1 日 (令和 7 年 6 月)	F - 2 戦闘機 × 2 機	連続離着陸訓練 (タッチ・アンド・ゴー)
南紀白浜空港 (和歌山県)	2 日 (令和 7 年 1 0 月)	F - 1 5 戦闘機 × 4 機	連続離着陸訓練 (タッチ・アンド・ゴー) ※自衛隊統合演習の中で実施
徳之島空港 (鹿児島県)	1 日 (令和 8 年 2 月)	F - 1 5 戦闘機 × 4 機 T - 4 練習機 × 2 機	連続離着陸訓練 (タッチ・アンド・ゴー)